

なつやすみの美術館 14
河野 愛 「こともの、と」

MOMAW Summer Museum Project #14
Ai Kawano. KOTOMONOTO: Foreign Objects, and—

2024年7月13日(土) – 9月23日(月・休)



① 河野愛 《O》2024 ネオン看板 作家蔵

お問い合わせ先

和歌山県立近代美術館

学芸担当：青木加苗 広報担当：村井

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上 1-4-14

T E L : 073-436-8690

F A X : 073-436-1337

E-MAIL : press@momaw.jp

W E B : <https://www.momaw.jp>



WEB



Facebook



X



Instagram

なつやすみの美術館14 河野 愛「こともの、と」

7月13日(土) - 9月23日(月・休)

「こともの」——この不思議な響きのことばは、「コト」と「モノ」でしょうか。それとも「こども」に関する何かでしょうか。美術作家の河野愛(かわのあい/1980-)は近年、「こともの」と題したシリーズの作品に取り組んでいます。河野自身は「異物/異者」と表記される古語として、このことばを選んでいます。乳児の肌のくぼみに真珠を挟んだ様子を撮影した一連の作品は、そのやわらかな肌の心地よい感触と同時に、真珠という異物が肌の合間に存在する違和感、またクローズアップによる距離の測れなさ、そして怖さをも見る者に感じさせます。



② 河野愛《こともの foreign object (clock)》2024 インスタレーション 作家蔵

河野が「こともの」を制作のテーマとしたのは、2019年末、コロナ禍に見舞われる直前に出産し、子育てが始まったことがきっかけでした。見えないウイルスという異物が世界を脅かし、外出が極度に制限されるなか、河野は生まれたばかりの乳児と向き合う日々を送ることになります。自分の身体のなかから生まれ出た存在ながら、コミュニケーションの難しい異者である乳児との生活は、その状況も相俟ってさまざまな困難を伴いましたが、その結果、河野に「こともの/異物/異者」という存在に向き合う視点を与えることになりました。

ところで美術館には体系立てて集められたさまざまなコレクションが存在しますが、収蔵された作品は過去の「遺物」でもあり、また作品同士は互いに「異物/異者」として存在します。それらを時代やジャンルに縛られることなく自由に出会わせることで、美術と美術館の楽しみ方をさまざまな視点から紹介する場として設定してきたのが、和歌山県立近代美術館が2011年より継続するシリーズ展「なつやすみの美術館」です。14回目となる今回、河野愛を本展の招聘作家に迎え、美術館のコレクションに「こともの」である河野の作品を加えることで、また河野自身が美術館のコレクションという「こともの“と”」と出会うことで、美術館を訪れる人にとっての新たな「こともの」との出会いの場を生み出したいと思います。

開催概要

展覧会名	なつやすみの美術館14 河野愛「こともの、と」
会場	和歌山県立近代美術館 2階展示室
会期	2024(令和6)年7月13日(土) - 9月23日(月・休)
開館時間	9時30分 - 17時(入場は16時30分まで)
休館日	月曜日(祝休日の7月15日、8月12日、9月16日、9月23日は開館) 7月16日(火)、8月13日(火)、9月17日(火)
観覧料	一般520(410)円、大学生300(260)円()内は20名以上の団体料金 *高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料 *毎月第1日曜日(8月4日、9月1日)は無料入館日 *毎月第4土曜日(7月27日、8月24日)は「紀陽文化財団の日」として大学生無料

主な出品作品

掲載用画像については広報担当にお問合わせください。
文字のせ、トリミング等をご遠慮ください。



③ 河野愛《100の母子と巡ることもの》2021-
桐箱、アコヤ真珠、撮影依頼書、写真 作家蔵



④ 河野愛《〈1〉 opportunity》2022 映像 作家蔵 撮影：堀井ヒロツグ



⑤ 河野愛《loupe》2024 樹脂、真珠 作家蔵



⑥ 河野愛《doll hands》2024 錫 作家蔵



⑦ 野田哲也《日記 1976年11月18日(c)》1976
木版・スクリーンプリント、紙
和歌山県立近代美術館蔵



⑧ 稗田一穂《晩夏》1998
顔料、紙 和歌山県立近代美術館蔵



⑨ 鈴木理策《海と山のあいだ(14, DK-273)》2014
発色現像方式印画 和歌山県立近代美術館蔵

関連事業

都合により内容を変更する場合があります。
各イベントの詳細や参加申込等についてはホームページ等でお知らせいたします。

▶ 記念対談 小川公代 × 河野愛

日 時：8月10日(土) 14時～16時

場 所：和歌山県立近代美術館 2階ホール

ゲスト：小川公代(英文学者、上智大学外国語学部教授)、河野愛(出品作家)

聞き手：青木加苗(本展担当学芸員)

英文学者の小川公代氏をお招きし、出品作家の河野愛さんとともに、ケアの視点を交えてお話しいただきます。

▶ アーティスト・トーク (河野愛によるギャラリートーク)

日 時：7月13日(土)、9月7日(土) 各回14時から1時間程度 2階展示室 *要観覧券

▶ ギャラリー・トーク (学芸員による展示解説)

日 時：8月4日(日)、9月22日(日) 各回14時から1時間程度 2階展示室 *要観覧券

▶ こども美術館部 (小学生を対象とした作品鑑賞会)

テーマ：こどもの、ど

日 時：9月14日(土)、15日(日) 11時から1時間程度 *両日同内容

場 所：和歌山県立近代美術館 2階展示室

人 数：6名程度 *要予約 8月31日(土) 9時30分からホームページで受付いたします。

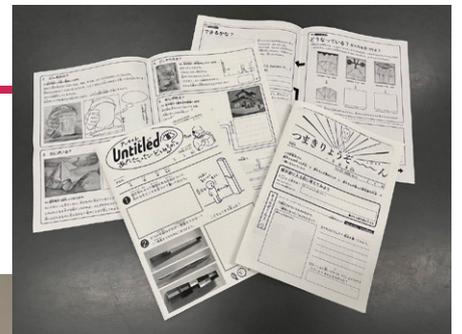
▶ たまごせんせいとわくわくアートツアー (和歌山大学美術館部による鑑賞ガイド)

日 時：8月14日(水)～8月18日(日) 各日11時、13時30分、15時からの3回実施 45分程度

場 所：和歌山県立近代美術館 2階展示室

学校教員とともに作るワークシート

なつやすみの美術館展では2013年より、誰でも手に取っていただける展覧会鑑賞ワークシートを配布しています。作成しているのは美術館が主催する「和歌山美術館教育研究会」に集まる、学校教員や美術館教育に関心を持つ有志たちです。4月からおよそ3か月かけて、展覧会の内容を理解しながら、多様な年齢に対して学びを促すワークシートのかたちを目指して、準備しています。近隣の学校では宿題としても活用されており、展覧会と学校教育の有機的なつながり、さらに地域社会との接点を生み出しています。



⑩ 過去のワークシート



⑪ 研究会で作品を鑑賞する参加者たち

同時期に開催の展覧会

▶ コレクション展 2024-夏 特集：旅する美術 会期：7月2日(火)～9月23日(月・休)

▶ 県立博物館(とがり)の展覧会

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年記念特別展 聖地巡礼 — 熊野と高野 —

第Ⅰ期 那智山・那智瀧の神仏 — 熊野那智大社と青岸渡寺 — 会期：6月15日(土)～7月21日(日)

第Ⅱ期 神仏・祖師の住まう山 — 高野山上・山麓の宗教文化 — 会期：8月3日(土)～9月29日(日)